

# 平成21年度

## 「県林業技術センター成果報告会」を

### 開催しました

#### 1 はじめに

去る2月10日(水)、盛岡駅西口の岩手県民情報交流センター「アイーナ」で、恒例の成果報告会を開催しました。当日は、市町村、林業関係機関・団体、マスコミ、一般の方々、県職員など約100名の方々にお越しいただきました。

今年度は、林業普及指導員全体研修会・特別講演会に引き続き開催しましたが、今回はその内容についてお知らせします。

#### 2 成果報告会の概要

成果報告会は、平成20～21年度までに終了した研究課題の成果を中心に5課題を口頭発表するとともに、学会で報告したポスターと研究成果速報のパネルを会場内に展示しました。

口頭発表の概要は以下のとおりです。

##### (1) 「マイマイガとカシワマイマイ」

最近の大発生は終息したのか?

県北を中心に一昨年度から大発生した「マイマイガ」などについて

の発生状況調査に基づいて、21

年春には、幼虫に流行病が広く蔓延し斃死したため、当面、大発生の兆候は見られないと予測されること。

##### (2) 「マツノザイセンチュウ抵抗性の高い種子の供給」

これまで林業種苗用として供給されていたアカマツの生存率は約54%でしたが、松くい虫被害に強い系統同士を人工交配することによって、生存率が約83%まで引き上げられ、これまで以上に強いアカマツ種子の供給が可能となったこと。

##### (3) 「洋野町しいたけ生産者のハウス内仮伏せ事例」

ハウスを利用した早期ホタ化の実態を温度変化の側面から解析し、適切な被覆管理によって、寒い時期でもシイタケ菌糸伸長に有効な温度が確保されていること。

##### (4) 「杭材の屋外耐久性と劣化診断」

丸棒杭を地面に挿して腐朽経過

を8年間にわたり調べた結果、木杭は、時間経過とともに地際付近の断面が欠損して、強度が低下すること。

##### (5) 「いわて型小型蒸気ボイラーシステムの開発と実証試験」

共同研究により開発した「いわて型小型蒸気ボイラー」を、実際に製材工場で木材乾燥に使用し、全自動運転の場合の樹皮供給量や木材乾燥のコスト及び二酸化炭素低減効果などの検証結果。

#### 3 おわりに

当センターでは、今後とも開かれた試験研究機関として、得られた研究成果を「より速く」、「より広く」、「より分かり易く」をモットーに情報発信していきたいと考えています。

林業技術センター企画総務部



会場の様子



成果報告の様子